



FUJI OIL GROUP 2020

私たち不二製油グループは、食の素材の可能性を追求し、食の喜びと健康に貢献します。

第92期 年次株主通信

2019.4.1～2020.3.31

Plant-Based Food Solutionsの進化で サステナブルフーズのプラットフォームへ

この度の新型コロナウイルス被害者の皆様に、謹んでお見舞い申しあげるとともに、一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第92期年次株主通信をお届けいたしますので、ご高覧いただけましたら幸いです。

株主の皆様には、今後とも当社グループの事業にご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 清水 洋史

不二製油グループ本社株式会社

Pick Up

素材メーカー発のソリューション提案ショーケース 「UPGRADE Plant based kitchen」 担当者が語る現在

2019年9月、大丸心齋橋店にオープンした当社初のデリカテッセン「UPGRADE Plant based kitchen」。豆乳新素材や大豆ミートなど大豆生まれの「未来の食事」をご提供する現場からお届けします。



豆乳クリームバター(ソイレブール)を使用したメニューの提供を開始



当初は当社独自の新豆乳素材として、豆乳チーズ「まめまーじゅ」を使用したメニューが主でしたが豆乳クリームバター「ソイレブール」が商品化されご提供できる料理の幅が広がりました。目下の課題は、新素材である豆乳クリームバターの価値をどのようにお客様にお伝えするかです。調理したら溶けて見えなくなってしまう豆乳クリームバター。その見た目では伝わらないおいしさをどう表現し伝えるか、日々苦心しています。

ソイレブール使用メニュー例

「インカが目覚め野菜フライ」

(2019年12月～)

インカが目覚め(じゃがいも)を主に、南瓜、紫いもをソイレブールでソテー。テイスティービッツ(乾燥した～ミートレスのトッピング材)のベーコン風味を混ぜ合わせたものを、特製まめまーじゅクリームをつけて召し上がっていただけます。外はカリッと中はホクホク。しつこくないバター風味で味わいよく、視覚的にも食欲をかき立てる彩りのよい一品です。



「きのこのニョッキ豆乳クリームバター」

(2020年夏予定)

もちもちとした見た目も可愛いニョッキ(パスタ)のソースとして、相乗的に香りを引き立てたマッシュルームとソイレブールを使用。マスカルポーネ風の特製まめまーじゅクリームと一緒に味わう満足感の高い一品です。

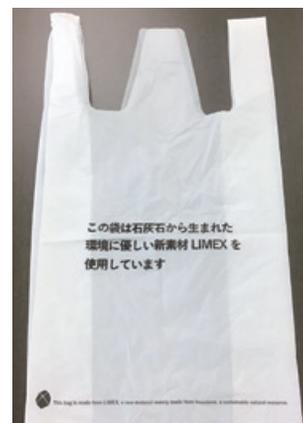
海鮮系メニューへの挑戦

オープン以来、ミンチ以外の様々な形状・食感の大豆ミートのご提案として主に肉料理をご提供してきましたが、今後の展開として、「ソイウニ」・「ソイツナ」をはじめとした、海鮮系のメニュー導入を検討しています。植物性のシーフードメニューにご期待ください。



エコ包材からエコ素材を広く知っていただく機会に

UPGRADEは「おいしい」から「エコな食事」を知っていただく場として、包材も可能な限り紙製にこだわってきました。他方、レジ袋の有料化に伴い、エコ素材の開発・製品化が進んでいます。紙袋からエコ包材へ切り換えつつ、「知らずに使っているエコ素材ってどんなもの？」と、知っていただく場にもしていきたいと考えています。UPGRADEのSDGs貢献テーマと重なる部分が多い(株)TBM社と協力して、新素材LIMEX製のレジ袋「LIMEX Bag」を順次導入の予定です。(注) LIMEX: 石灰石を主原料とする、紙やプラスチックの代替となる新素材



Top Message

トップメッセージ



社を完全子会社化するという大きな出来事がありましたが、それを受けた第92期は、最終年度に向けて文字通り大いに変革を進めた一年でした。

中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」では、「コアコンピタンスの強化」「大豆事業の成長」「機能性高付加価値事業の展開」という3つの基本方針を設定しています。チョコレート事業の拡大・発展を目指す「コアコンピタンスの強化」に関しては、米国Blommer社のグループ参加を受け、今後はこの事業からより大きな収益を生み出すことが課題となります。

大豆事業は、当社グループの歴史の中で苦労しながらも取り組みを続け、啓蒙活動を行ってきた事業です。世界的に植物性たん白が注目され始めていいることもあり、そろそろカタチになるのではないかと感じています。新型コロナウイルスの影響で不確実な面はあるものの、2020年度に新しい大豆たん白の工場が国内にて稼働する予定です。

また、2019年9月、大豆などの植物性食品を用いて食事を提供する「UPGRADE Plant based kitchen」を大阪の大丸心齋橋店に出店し、非常に高い評価をいただいています。植物性食品の方が身体のためにも地球環境のためにもよいと考えていただける傾向も見られ、さらに期待できると考えています。

3つ目の「機能性高付加価値事業の展開」関連では、安定化DHA・EPAなど新素材は上市が遅れているものの、高齢化という社会課題は間違いなく進むため、マーケットの創造を進めます。また、水溶性えんどう多糖類の生産拠点として、Fuji Brandenburg社をドイツに設立しました。現在は、工場建設とマーケティング活動を進めている状況です。

中期経営計画の最終年度、第93期について

第93期は、中期経営計画の最終年度、「結」の

年です。現在、当社グループは世界10カ国16カ所にチョコレート生産拠点を有する体制となりました。そのシナジー効果を最大限に活用したり、健康志向の食品づくりを行うなどして結果を出していきたいと考えています。

当社グループは食品素材メーカーである以上、食品メーカー様などが必要とされる原料を必要なタイミングで提供するという大きな使命があります。その点に関して、これまで以上に維持・発展させていきたいと考えています。

新型コロナウイルスの感染拡大はピークを迎えつつあるものの、依然として先行き不透明な状況が続きます。当社グループでは、資金調達や投資を含めた計画の見直しなど、必要な対策について本社が核となってトップダウンで進めていきます。

これからの時代、いかに経営すべきか

これからの事業を考えると、バックキャストिंगの変革とフォアキャストिंगの変革という2つのアプローチが必要だと考えています。バックキャストिंगとは、未来を起点に現在すべき取り組みを考えること。どのような会社になりたいか、ありたい姿をベースに長期ビジョンを考えます。反対に、現在の事業ポートフォリオから考えるのがフォアキャストिंगです。

新型コロナウイルスが収束した後も、世の中が元通りに戻るとは考えられません。外出自粛をきっかけに仕事の仕方や働く目的が変わり、消費者の考え方も変わってくるでしょう。社会構造が大きく変化するなかでは、時代に応じた変革を実現し、社会的価値を果たせる会社しか生き残ることはできません。そのとき、バックキャストिंगの変革が重要になります。

では、当社グループはどのような姿を目指すのか、何をすべきなのか。当社グループが開発・提供している植物性油脂や大豆たん白などは代用品と呼ばれてきました。しかし、代用品とは、いわばサステナブルフーズです。

2050年には人口が97億人を超えるといわれ、間違いなく食糧不足が起きます。そうした社会の困りごとを解決するために、当社グループは、サステナブルフーズのプラットフォームを目指したいと考えています。

PBFSの考え方で未来へ

もちろん、企業としては社会的な課題解決で収益を確保する必要があります。当社グループの成長と事業を通じた社会的な課題解決を両立させるためには、バックキャストिंगとフォアキャストिंगを連携させなければなりません。

当社グループではPBFS(Plant-Based Food Solutions)というコンセプトを持っています。単なるモノづくりではなく、植物性食品素材で社会的な課題の解決を目指すという考え方です。チョコレートや植物性油脂、クリームなどを提供する現在のビジネスモデルから、人の困りごとを解決するサステナブルフーズまで、当社グループでは植物性素材で一貫させているといえ、PBFSを連携の鍵と捉えています。

この4月には、未来創造研究所に人事異動を行い、PBFSへの体制を強化しました。さらに外部の知見も活用しながら、未来はどう変わるのかを探るプロジェクトを行い、バックキャストिंगとフォアキャストिंगを結び取り組みを推進します。そして、PBFSによって社会的な課題解決を行うことで成長し続ける会社でありたいと考えています。

FUJI OIL NEWS

昨年度に続き、CDP 評価を獲得

当社は、国際的な環境非営利団体CDPから、「森林 A」・「気候変動 A-（マイナス）」・「水 A-（マイナス）」の評価を受けました。第92期の評価の全体概要は以下の通りで、各プログラムにおいて最高位レベルの「リーダーシップレベル（A・A-）」評価を獲得。「森林 A」は日本企業では唯一であり、昨年度に続き2度目の獲得です。今後も、ステークホルダーとの対話・連携のもと、事業活動を通じて社会課題の解決に真摯に取り組んでまいります。



CDPプログラム	第92期	第91期(2018年評価)
CDP森林	A	A
CDP気候変動	A-	B
CDP水	A- ※初回答	-

※CDP:企業や自治体から収集した環境に関する情報開示システムを運営。収集データを分析し、AからDのスコアで評価しています。2019年は、世界の時価総額の50%以上を占める8,400社以上の企業がCDPを通じて環境データを開示しています。

「健康経営優良法人」に3年連続認定

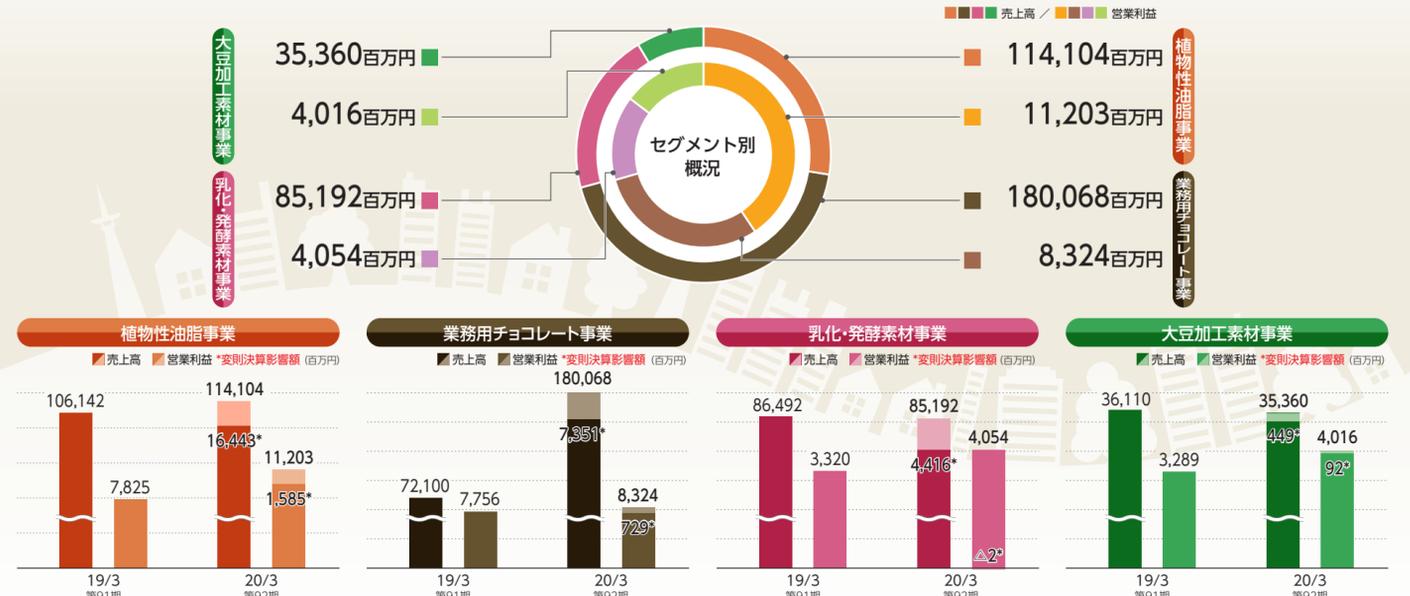
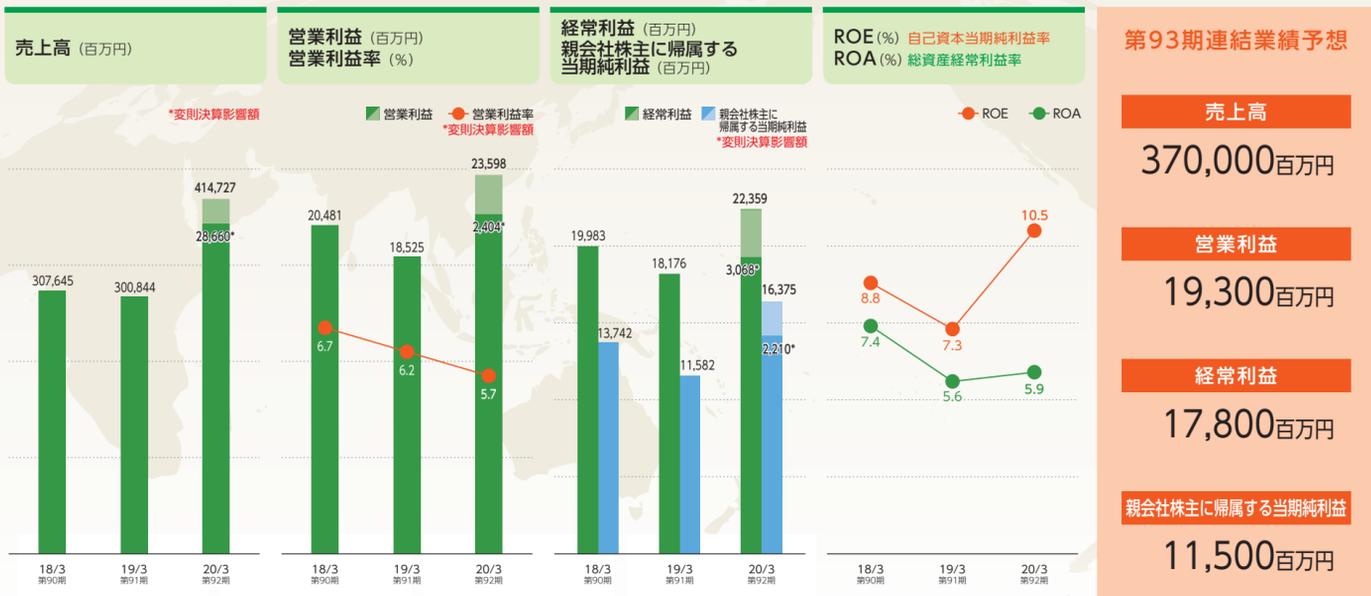
2020年3月、経済産業省及び日本健康会議による健康経営優良法人制度において、当社・不二製油(株)が3年連続で「健康経営優良法人2020 大規模法人部門(ホワイト500)」に認定されました。また、国内グループ会社の(株)フジサニーフーズ(ホワイト500)・トーラク(株)(大規模法人部門)・不二つくばフーズ(株)・オーム乳業(株)(中小規模法人部門)も認定されました。



当社グループは引き続き、従業員の健康維持・推進に積極的に取り組み、社会とともにサステナブルに発展する企業を目指してまいります。

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト



(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注2) 当連結会計年度より報告セグメントの変更を行っており、第91期の数値に関しては変更後の算定方法及び変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較をしております。
 (注3) 当連結会計年度は、在外子会社19社の決算期変更をしたことに伴い、当該在外子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月を通じた変則決算となっております。そのため対前期増減率については記載しておりません。

(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注2) 当連結会計年度より報告セグメントの変更を行っており、第91期の数値に関しては変更後の算定方法及び変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較をしております。
 (注3) 当連結会計年度は、在外子会社19社の決算期変更をしたことに伴い、当該在外子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月を通じた変則決算となっております。そのため対前期増減率については記載しておりません。

Corporate Profile & Stock Information

会社&株式情報

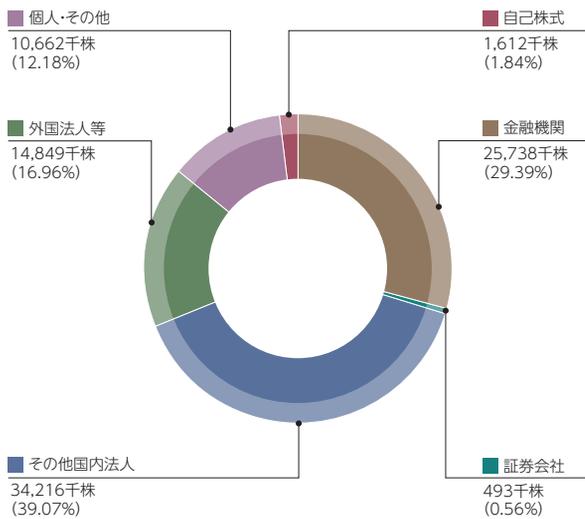
会社概要 (2020年3月31日現在)

設立	1950年(昭和25年)10月
資本金	13,208百万円
全グループ従業員数	5,874名
不二製油グループ本社従業員数	150名

役員 (2020年6月18日現在)

代表取締役社長	清水洋史
取締役上席執行役員	酒井幹夫
取締役上席執行役員	松本智樹
取締役上席執行役員	大森達司
取締役上席執行役員	門田隆司
取締役上席執行役員	高杉和広
社外取締役	三品祐子
社外取締役	上野秀訓
社外取締役	西谷武彦
常勤監査役	澁谷隆太郎
常勤監査役	角谷住裕
社外監査役	魚住田彦
社外監査役	池田裕彦

所有者別株式分布状況 (2020年3月31日現在)



※千株未満切捨

株式に関するご案内

下記当社Webサイトをご覧ください。
<https://www.fujioilholdings.com/ir/stock/>



株主様への還元について

株主優待

1. 対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様

2. 優待品発送時期

毎年11月上旬頃

3. 優待品保管期限

転居や不在により、お受け取りいただけなかった優待品は、**1月末日まで**当社で保管しております。再発送のご依頼は、お早めに下記当社株主優待お問い合わせ窓口へお申し出ください。なお、保管期限経過後は再発送のご対応はいたしかねますので、ご了承ください。

5. 優待品内容

ご所有株式数に応じて、以下の優待品を**毎年11月上旬頃**にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ	1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	4,000円相当



4,000円相当 内容例

4. お問い合わせ先

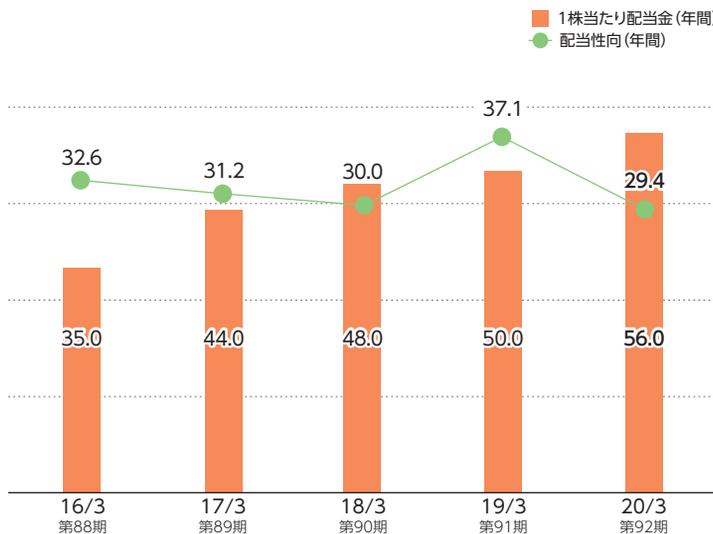
当社株主優待お問い合わせ窓口

フリーダイヤル 0120-651-563

受付時間 10:00~17:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)

配当

1株当たり配当金(円) / 配当性向(%)



当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。

株主配当につきましては配当性向30%~40%を目安として、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。

また、自己株式の取得も機動的に検討いたします。

なお、2020年3月期に関しては、在外連結子会社19社の決算期変更による業績影響を勘案し、1株当たり配当金を期初予想から2円増配いたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 2607

いいかぶ 検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます (1809)